

施策評価シート

施策等名称	健康増進による介護予防の推進	体系番号	0101010202
		主管課	高齢者・保険課

1 施策基本情報

現状と課題	高齢期には、ささいなことが怪我や病気の原因になりやすく、要介護状態や認知症の発症につながり、これまでの生活が一変してしまうことも少なくない。怪我や病気の予防や、高齢期の健康づくりの取組が重要となっている。また、要支援者が要介護認定を受ける際の主な理由として、既往疾患の悪化があり、介護予防の推進や健康維持、介護度の重度化を防止するためにかかりつけ医を持つなど、関係機関が連携し保健・健康指導を効果的に行っていくことが必要。さらに、医療機関とケアマネジャーや介護保険サービス提供事業者間の連携を支援するため、医療と介護の連携を図る必要がある。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	高齢者が自身の健康管理をするためには、健診の定期的な受診を意識づけ、情報提供、地域のニーズに合わせた講座や教室の開催など、身近な地域で施策を検討・展開していく。また、健康管理が続けられるために、一人ひとりの継続的な取組や意識に委ねられる部分に対し、健康づくり活動が続けられるよう働きかけや支援を行う。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	特定健診の受診率	40歳から74歳の国保加入者のうち特定健診受診者数/40歳から74歳の国保加入者の総数×100(%)	48.40	60.00
②	75歳以上健診の受診率	75歳以上の者のうち健診受診者数/75歳以上の者×100(%)	16.80	35.00
③				

施策の柱 1	名称	健診受診率の向上に向けた取組の推進		主管課	健康づくり推進課	
	詳細	高齢者の生活習慣病の発症予防と重症化予防のためには、年に1回は特定健診を受診していただくことが大切であることから、健診の受診率向上を図る				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	指標の設定困難	健康づくり推進課にて事業実施		1	
	2				2	
	3				3	

施策の体系	名称	継続的な啓発活動の推進		主管課	健康づくり推進課		
	詳細	行政が行うイベントや健康づくり講座などの機会を捉え、自分や家族の健康を見直すことができるよう、継続的に健康づくりの啓発活動を推進する。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	健康づくりのつどい参加者数	健康づくりのつどいへの年間延参加者数(人)	400.00	500.00	1 健康づくりのつどい事業 2 運動習慣づくり事業	実施 実施
	2	ウォーキングのつどい参加者数	ウォーキングのつどいへの年間延参加者数(人)	50.00	70.00	3	
	3				4		

施策の柱 3	名称	介護予防の啓発活動と情報発信の推進		主管課	高齢者・保険課		
	詳細	保健福祉サービスセンター、かかりつけ医と連携して、介護予防の啓発を行うとともに、広報活動による情報発信の推進を行うとともに、認知症予防についても啓発を進めるとともに、認知症に係るケアガイドの作成を検討する。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	認知症ケアガイド作成	認知症の理解を深めるケアガイドの作成、活用	作成検討	周知・活用	1 認知症総合支援事業 2 介護予防普及啓発事業	実施 実施
	2				3		
	3				4		

施策評価シート

施策等名称	健康増進による介護予防の推進	体系番号	0101010202
		主管課	高齢者・保険課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系	名称 介護予防事業の検討と継続的な予防活動の推進		主管課	高齢者・保険課				
	詳細 介護予防、認知症予防事業を継続的に実施し、介護予防施策の充実を図るとともに、地域で自主的な活動が実施され、介護予防事業、認知症予防事業の講座等を修了した人の受け皿となる体制整備を検討する。 また、市で実施している生活習慣や食育、健康の維持増進に関する講座の開催、講師等の派遣などの情報を提供し、教室等の開催を推進する。							
	施策の柱 4	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1	運動教室の実施地区数	地区運動教室を実施する区・自治会の数(箇所)	46.00	50.00	1 地区運動教室事業	実施
		2	熟年大学の活動参加継続率	参加者が取り組む活動(速歩)継続率(%)	87.00	100.00	2 健康熟年大学事業	実施
		3					3	
	基本政策間連携							
	施策の柱 5	名称		主管課				
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
		1				1		
	2				2			
	3				3			
	基本政策間連携							
	施策の柱 6	名称		主管課				
詳細								
まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
1					1			
2				2				
3				3				
基本政策間連携								
施策の柱 7	名称		主管課					
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1				1			
2				2				
3				3				
基本政策間連携								

施策等名称	健康増進による介護予防の推進	体系番号	0101010202
		主管課	高齢者・保険課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	特定健診の受診率	48.40	10月に確定				
1		60.00	#VALUE!	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	受診率の確定時期は10月となる。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	75歳以上健診の受診率	16.80	11.66				
2		35.00	33.31	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	受診率算定方法の改定により、算定分母(対象者)が計画策定時よりも増えたことに伴う受診率の減少。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	指標の設定困難	0.00					
1		0.00	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度	健康づくり推進課にて事業実施。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	健康づくりのつどい参加者数	400.00	410.00				
1		500.00	82.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	参加者の自然増。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	ウォーキングのつどい参加者数	50.00	35.00				
2		70.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	参加者の自然減。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱3	認知症ケアガイド作成	作成検討	作成中				
1		周知・活用	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
変動要因等	2018年度	福祉21茅野の認知症部会において認知症ケアガイドを作成中。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	健康増進による介護予防の推進	体系番号	0101010202
		所管課	高齢者・保険課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱4 1	運動教室の実施地区数	46.00	48.00				
		50.00	96.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	新たに2つの区が運動教室を開始。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱4 2	健康熟年大学の活動参加継続率	87.00	87.00				
		100.00	87.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	大半の参加者がカリキュラム(インターバル速歩)を継続実行している。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	健康増進による介護予防の推進	体系番号	0101010202
		主管課	高齢者・保険課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	10,932,451	16,647,000	1.52		
	うち一財(円)	826,065	979,000	1.19		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	地区運動教室においては、今年度に新たに2つの区が運動教室を開始した。				
	課題	各事務事業の取り組みの中で、どのように特定健診・75歳以上健診の受診率の向上へつなげていくかが課題となる。				
改革・改善	改革・改善内容	各種健康教室等において、その成果を確認するために健診受診を推奨していく。 また、健診受診時には、健診結果を向上させるため、地域で行われている各種健康教室等をPRしていく。				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	4			
		重点事務事業	1			
	理由	高齢者の健康増進・介護予防のためには、各事業を継続していくことが重要。				

作成担当者	牛山 浩			
最終評価責任者	両角 直樹			
最終評価年月日	2019年5月17日			